



どうして被害がなくなるらない?



イノシシに出会った時は…

①近づかない

ほとんどの場合はしばらくすると自然と山に帰っていきます。犬などを連れていたり、敵と判断して攻撃しえることがあるので、十分に注意してください。



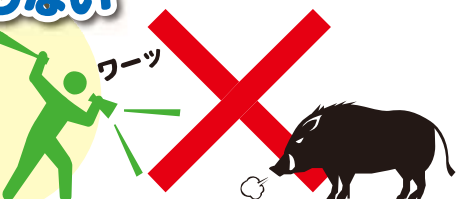
②ゆっくり後退し、静かに立ち去る

立ち去ることが難しいときは、安全な場所でイノシシが立ち去るまでやり過ごしてください。安全な場所から、音を立てるなどして、人がいることを知らせましょう。



③威嚇したり、驚かせたりしない

むやみに興奮させると危険です。



イノシシが物陰などにいる場合があります。びっくりさせて突発的な事故を防ぐため、

イノシシの出没のおそれがある場所では、特に夜に散歩くときは、音や光でこちらの気配を知らせるようにしましょう。



イノシシの出没情報やご相談は…若松区役所へ

平日 8:30~17:00

電話: 761-0039

夜間・休日

電話: 761-5320

若松区では被害を減らすためイノシシを捕獲しています。

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
捕獲頭数	111	83	121	94	148	139

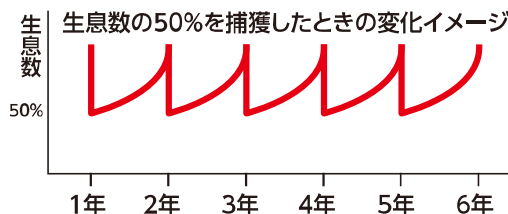
これだけ捕獲してもイノシシによる被害は無くなりません。

なぜか?

それは…イノシシがとても繁殖能力が高い動物だからです。

- 早い性成熟
- 高い妊娠率
- 多い産子数
- 基本的に年1産
- 1歳までに約50%が死亡

捕獲しても次の年には元の数に戻ってしまいます。



農林水産省「野生鳥獣被害防止マニュアル」参照

捕獲するだけでは、根本的な解決にはなりません。

だから



イノシシを近づけない工夫をし、イノシシと上手に付き合っていくことが大切です。

中面にヒントを記載しています。

